

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式										
E112J005		絵画 (Painting)																	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
必修	1	3	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 久間 清喜 E-mail kkuma@oita-u.ac.jp 内線													
授業の概要	中学校美術で扱う絵画領域について知識を習得するとともに、用具の使用法をはじめ、絵画表現の基礎的な事項を学ぶ。																		
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 絵画表現をする上で必要な用具、材料などの基本的な使い方を習得できる。																			
目標2 対象を観察し、客観的に表現することができる。																			
目標3 線、面、調子など絵画表現の基礎的な考え方が理解できる。																			
目標4 作品を鑑賞し的確な説明ができる。																			
目標5																			
目標6																			
目標7																			
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1 描画材料、用具について																			
2 線について																			
3 光、調子について																			
4 鏡・自画像1																			
5 いろいろな描画材料によるデッサン																			
6 人物を描く 人体クローキー																			
7 自然を描く 風景・樹木																			
8 静物を描く 静物モチーフの構成																			
9 静物デッサン																			
10 講評会																			
11 水彩画表現技法																			
12 アクリル画表現技法																			
13 水彩による人物デッサン																			
14 アクリルによる静物画																			
15 作品鑑賞会 まとめ																			
ラーニング	A:知識の定着・確認	課題ごとに学生自身が制作した作品についてプレゼンテーションを行い、それについて学生間で検討をする。					工夫	その	他の										
	B:意見の表現・交換																		
	C:応用志向																		
	D:知識の活用・創造																		
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	絵画技法、材料、作家などについて調べ、制作に必要な道具などを調達する。(7h)																	
	事後学修	各自の作品制作の進行に応じて使用する材料や道具について学習し、作品に対する考察を深める。(15h)																	
教科書	特になし																		
参考書	適宜プリントを配布する。																		
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10							
	課題作品	70%																	
	プレゼンテーション	30%																	
注意事項	授業で使用する道具について基本的なものは教室で用意する。																		
備考																			
リンク																			
	URL																		